男性更年期障害

男性更年期障害とは

男性更年期障害は、加齢による男性ホルモンの減少が原因で起こる体の不調のことです。なんとなく調子が悪い、眠れない、性欲が薄れてしまったなど、心と体にさまざまな症状が現れます。
男性の更年期障害は女性と違い、急激なホルモンバランスの変化が起きることは少なく、気づかずに老年期に進む方が多いものの、ストレスなどを契機に 40 代で発症する方もいます。放置すれば将来的に認知機能や身体機能の低下をきたし、生活習慣病のリスクが高まるとも言われています。

当院専門外来での診療

現在お困りの症状や現状を詳しくお伺いしてから、一般的な診察、画像検査、男性ホルモン測定などの検体検査を行ない、男性ホルモン値の低値があれば適切なホルモンの補充療法をお勧めしております。

より良い診療を行うために自費診療となります。

担当医

松下 知彦、岩本 晃明

スケジュール

初 診

アンケートの記人、既往歴・薬歴・内服薬の確認。身体所見の診察。血圧測定。
検査日予約、次回診察日予約。

検査日

１０時までに採血採尿、腎膀胱前立腺陰嚢内容の超音波検査。

１回目再診

結果説明、１回目のホルモン注射。必要に応じて PDE5 Inhibitor 処方。
亜鉛不足、甲状腺疾患、脂質異常、高血圧症などがあれば内科へ紹介。
うつ状態などが疑われた場合は専門医の受診を勧める。

１ヶ月後２回目再診・採血検査・アンケートの記入

経過を聴き効果が感じられるようなら２回目のホルモン注射。
効果不足ならホルモン軟膏処方。無効なら漢方薬に変更。（月１回）
３ヶ月毎に採血にて副作用のチェック。これらを１年間継続。

料金

初回検査	初診時	25,000 円 (税込)
	再診時	19,000 円 (税込)
注射治療	エナルモンデポー 125 ㎎	8,800 円 (税込)
	エナルモンデポー 250 ㎎	11,000 円 (税込)
	毎月検査（項目により）	5,500 円 (税込) ／ 11,000 円 (税込)

大船中央病院　泌尿器科外来　0467-45-2111（代）